

## 平成 28 年度 学校経営計画及び学校評価

## 1 めざす学校像

本校は、「知・徳・体」の調和のとれた人格の陶冶をめざし、高い志と夢を持って 21 世紀を担うことのできる有為な人材を育てる。

- 1 良識溢れる豊かな人間性を持ち、国際感覚に富んだ、社会に貢献する、リーダーシップを取ることのできる人材の育成を図る。
- 2 学校をめぐる情勢の変化に迅速に対応しうる機能的な組織運営に努め、他校をリードする先進的な学校づくりを展開する。
- 3 「入りたい」「入ってよかった」、保護者や地域社会から「入らせたい」「入らせてよかった」と期待され信頼される学校を創る。

## 2 中期的目標

## 1 学力の向上と「知・徳・体」の調和のとれた人格の陶冶

(1) 進学を重視した規律ある学校として大阪を代表する全日制普通科単位制高校の確立

- ア 生徒のニーズの変化に対応し、進路目標の実現に向け常に適切にカリキュラムや指導方法の研究を行なう。
- イ 本校での学習活動のみで、国公立大学難関私立大学への現役合格に必要な学力を育成する。  
※29 年度においてセンター試験受験率 90%以上、国公立大学合格者現役 20%以上をめざす。
- ウ 土曜講習、長期休業中等の講習、週末課題等の内容を精査・改善し、進路実現のための基礎固めを図る。
- エ 体験・発表型進路学習（企業連携、高大連携、地域連携、異文化理解など）の充実・促進を図る。

(2) 「規範なくして学力向上なし」の合い言葉に、高い倫理観と強い精神力を育て、学業と部活動・学校行事の両立のための支援と指導を行なう。また、安全で安心して学校生活に取り組める環境を確立するとともに維持・発展させ、人権意識豊かな人間形成に努める。

- ア 学習指導・生徒指導・進路指導などの学校経営において他校をリードし、他校の範となりうる工夫、実践に努める。  
※29 年度においても一日平均学習時間を府内トップレベルにし、遅刻者数府内最少を維持する。
- イ 教育相談体制を構築し、個々の生徒情報の共有と対応を図る。また、人権尊重は、高い倫理観や豊かな人間性の基盤になることを理解させ、教職員にも人権意識と生徒指導スキルの向上を図る。

(3) グローバル社会の中で生きていく人として、生徒指導や特別活動などをおしてマナーやコミュニケーション能力やリーダーシップを育む。

## 2 先進的で他をリードする学校づくり

(1) 教職員の指導力向上をめざし、授業改善に努めるとともに生徒指導、進路指導面においても指導力の向上をめざす。

- ア 府内外の先進校への教師派遣（年 4 名以上）。

(2) 組織的な協働体制による学校運営の確立

- ア 教職員全員で組織的に校務に取り組めるよう効果的・効率的な組織体制を構築するとともに、常に社会や学校を取り巻く情勢の変化に迅速に、有効に対応できるようその維持・改善に努める。また、教員がより多くの時間を生徒対応に使うことができるよう業務のスクラップ&ビルドを追求する。
- イ 教科会を充実させ、日々の教科指導や講習などにおいても、さらに組織的な対応が可能となるよう「槻の木 教科 can-do リスト」と「槻の木 シラバス」の一体化を図る。  
※29 年度をめどに ICT の活用により、事務処理時間や職員会議における情報伝達時間の削減をめざす。

(3) 次代の学校経営の担い手になりうる教員の育成に努める。

## 3 保護者・地域から信頼される学校づくり

(1) 子どもが「入りたい」保護者が「子どもを入れたい」そして「入ってよかった」「入れてよかった」と地域に信頼され誇りにされる学校づくりを続けていく。学校説明会参加者数の維持に努める。

(2) 本校のウェブページを活用するなど、情報の発信に努め地域の信頼に応える。

## 【学校教育自己診断の結果と分析・学校協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [平成 28 年 12 月実施分]	学校協議会からの意見
<p><b>【学習指導等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の自己診断結果…「授業全体が分かりやすい」生徒 86%（昨年 80%）「授業の難易度が適切である。」生徒 86%（昨年 80%）「先生は、学習で自分が努力したことを認めてくれる」生徒 87%（昨年 85%）と昨年度から上昇した。</li> <li>・教職員の自己診断結果…「参加体験型の学習を行っている。」77%（昨年 69%）「学習方法や内容について工夫している。」87%（昨年 88%）と昨年度よりほぼ同じと考えられる。学習指導等について、教員は授業発表や教科会で授業研修を行っているが、引き続き授業力向上に向けて継続していく必要がある。</li> </ul> <p><b>【生徒指導】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒・保護者の自己診断結果…「規律を守った生活を送っている。」生徒 95%（昨年 93%）保護者 98%（昨年 98%）とほぼ昨年度と同じ。「学校生活についての先生の指導は納得できる。」68%（昨年 63%）と昨年度より上昇した。「先生は責任をもって、授業やその他の仕事に当たっている。」生徒 91%（昨年 89%）保護者 82%（昨年 84%）と昨年度とほぼ同じで、概ね先生に対して肯定的な捉えていると考えられる。</li> </ul> <p><b>【学校全体・学校運営】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒・保護者の自己診断結果…「充実した学校を過ごしている。」88%（昨年 85%）保護者 92%（昨年 92%）「入学して良かった。」76%（昨年 73%）保護者 89%（昨年 92%）多くの生徒が入学して充実した学校生活を送っていると考えられる。全体的に、生徒の評価が昨年度より微増したものが多かった。生徒と向き合う努力を継続したい。</li> <li>・教職員の自己診断結果…「教職員の適正・能力に応じた校内人事や校務分掌の分担」43%（昨年 75%）「教職員の相互理解と信頼関係がある。」76%（昨年 96%）と大幅に下がった。教職員の協働体制を再構築したい。一方、「人権に関する課題に対して」66%（昨年 58%）と上昇した。研修等の取組みを継続したい。</li> </ul>	<p><b>【第 1 回（7/16）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○平成 28 年度入試・新入生の状況</li> <li>・入試について、本校のアドミッションポリシーは具体的内容なので、「何々で頑張る」と自己申告書が書きやすいとの意見がありました。</li> <li>○「槻の木 NEXT STAGE」について</li> <li>・大学入試も変わるし、面白い取組みだと思う。自己実現だけで考えるのではなく、全体の中での自主性や何のために生きているのか考えながら生きていく少し大きな志を持てるような教育・取組みをこれからも考えてほしい。</li> <li>・人間としてのポリシーを見つけてもらえるような取組みになり、寝ていた子が目を覚ますようなきっかけになればと思います。</li> <li>・実感、納得、本音そして内面化していくプログラムを選んで行ってほしい。</li> <li>・「槻の木 NEXT STAGE」で「素養（知性・教養・品格）」の向上にさらに取り組んでもらいたい。などの意見や助言がありました。</li> </ul> <p><b>【第 2 回（9/24）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○本年度の入試結果について</li> <li>・中学生向けの学校説明会を多く開催していることは良いことである。</li> <li>・本校は入試選抜の B 問題選択（国数英）であったが、入学生の学力は下がっていない事を説明しました。</li> <li>○新入生の実態について</li> <li>・PTA 活動を見ても、親子共々やる気満々で本校に来ていただいた感じる場合がある。先生方も転勤はあるだろうが、槻の木イズムを継承していただきたい。</li> <li>・保護者が学校行事に参加したり、子どもの成績や学校の状況に関心がある場合、子どもの学力は上がっていく。などの意見や助言がありました。</li> <li>○「槻の木 NEXT STAGE」の経過報告</li> <li>・オーストラリアの海外研修やタイの国際交流に多くの生徒の希望者があった。来年度は東京研修などに取組んだら面白いと思う。</li> <li>・海外以外の研修は現地集合や現地解散を原則とし、生徒の自主性を養いたい。</li> </ul>

## 府立槻の木高等学校

	<p>【第3回2/18】</p> <p>○学校教育自己診断について</p> <p>・文化祭や体育大会の生徒の点数が低いのではないかととの質問があった。それに対して、実施後の満足度は90%以上であるが、自分たちが主体的に取り組んでいるかを考え、点数を高くつけなかったと思われる。イベント的な行事にならず、生徒が主体的に取り組めるようにしていきたいとの答えがあった。</p> <p>○「槻の木 NEXT STAGE」について</p> <p>・イベント的にならず、情熱をもって若者に話しかけてくれるような企業・大学と接点をもってほしい。PTAとしても協力したい。</p>
--	--

## 3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
学力の向上と規範意識の醸成	(1) 学習意欲のさらなる向上とより高い志を育む	<p>ア・カリキュラムの検証を進めるとともに、社会の変化に対応した指導方法の実践的研究を行う。</p> <p>・新シラバスや「槻の木 can-do リスト」の精査に努め、指導方法の実践的研究を行う。</p> <p>・カリキュラムの検証を進めるとともに、「体験・発表型授業」の実現をめざす。</p> <p>・職業観、勤労観育成のための取り組みを行うとともに、校内での大学個別説明会を行うなどして進路指導の充実を図る。</p> <p>イ・より高い志をもって進路に挑戦するよう、担任、進路担当、教科担当等学校全体での教員の研修および生徒面談の充実を図る。</p> <p>ウ・課題、予習、復習等による学習時間の維持とその定着を図る方策の検討を行う。</p> <p>・学校図書館の更なる活用などを通じて読書習慣や自習習慣の定着を図る。</p>	<p>ア・講座選択者数などを参考に常に検証する。</p> <p>・新シラバスの作成</p> <p>・教科会での精査と研究の実施</p> <p>・「総合的な学習の時間」「教養・探求・国際」を目的とした授業を設定する。</p> <p>・学校教育自己診断で進路指導に対する肯定的回答の90%以上の維持 (H27:91%)。</p> <p>イ・センター受験率80%以上 (H27:74%)、面談回数年間総数(約700回)の増加</p> <p>ウ 27年度2年(10月)、平日77分、休日110分の平均5分増。</p> <p>・学校教育自己診断で図書館の活用78%以上維持 (H26:78%)</p>	<p>ア</p> <p>・新シラバスの作成 (◎)「槻の木観点別シラバス(全教科)</p> <p>・教科会での精査と研究 (◎)</p> <p>・2年「総合的な学習の時間」に「教養・探究・国際」を目的と授業を設定 (○)</p> <p>・学校教育自己診断で進路に肯定的回答92% (H28:91%) (◎)</p> <p>イ・センター受験率91.7% (◎) (H27:74%) で平成29年度目標値(90%)も突破した。</p> <p>ウ・27年度より家庭学習平均5%増に対して平日85分、休日130分で平均14%増(◎)</p> <p>・学校教育自己診断で図書館74% (H28:78%) (○)</p>
	(2) 規範意識のさらなる向上	<p>エ・体験・発表型進路学習のために企業および大学や地域と連携する。</p> <p>ア・遅刻数・欠席数を府内最少をめざす。</p> <p>・生徒の安全確保のため、自転車指導等交通安全週間などを設け、指導の充実を図る。</p> <p>・学校美化や教室清掃に心がけ、学びの場としての学習環境整備に努める。</p> <p>イ・教育相談体制を保健課を中心に構築し、担任、学年団、カウンセラーと連携して個々の生徒の情報共有と対応を図る。</p> <p>ウ・人権意識の醸成のため、校内研修に努め、諸問題に対する理解を深める。</p>	<p>エ・参加した生徒に対するアンケート</p> <p>ア・学校教育自己診断で「規律を守った生活を送っている」生徒・保護者95%の維持</p> <p>・日本スポーツ振興C申請件数の維持 (H27:76件)</p> <p>・正門付近、校内等の美化</p> <p>イ・ケース会議の開催など</p> <p>ウ・人権研修の開催など</p>	<p>エ・「槻の木 NEXT STAGE」といって生徒の参加率、肯定率が高い。(◎)</p> <p>ア学校教育自己診断で生徒95%保護者98%(◎)</p> <p>イ遅刻者数144件(昨年度と同数◎)</p> <p>・日本スポーツ振興C申請件数の維持。平成28年69件(○)</p> <p>ウ・人権研修11/17実施(○)</p>
	(3) グローバル人材の育成	<p>ア・国際交流や語学研修等の取組を通して、国際的な視野を育む使える英語力の向上を図る。</p>	<p>ア・具体的な取組の実現</p> <p>・参加生徒へのアンケート</p>	<p>ア「槻の木 NEXT STAGE」でオーストラリア海外研修やタイ研修、関西大学・立命館大学連携などを実施。ほとんどの生徒が肯定(◎)</p>

## 府立槻の木高等学校

<p style="text-align: center;">2 先進的で他をリードする学校づくり</p>	<p>1) 教員の指導力の向上</p> <p>(2) より組織的で効率的な協働体制の構築</p> <p>(3) 若手教員の育成</p>	<p>ア・教科会を定期的で開催し、教科研修の場とするとともに、教科として「新シラバス」や「can-do リスト」の達成を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校内研修の計画的実施、内容の充実を図る。</li> <li>・授業アンケート等の結果を踏まえ、授業内容の振り返りと改善に努める。</li> </ul> <p>・先進校への教員派遣を勧め、さらに先進校の取り組みの導入を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒指導においては、生徒の変化を良く見極め、個々に応じた適切な指導ができるよう指導力の向上に努める。</li> </ul> <p>ア・職員朝礼や ICT を活用し、教職員間の円滑な情報の伝達と共有を推進する。</p> <p>ア・管理職、ベテラン教員による若手教員の校内研修を年5回以上実施する。</p>	<p>ア・教科会の定期的開催実現</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校教育自己診断で、研修に係る肯定的回答 95%維持。(H27:100%)</li> <li>・新シラバスと「can-do リスト」及び「チャレンジシート」との一体化</li> </ul> <p>・先進校への派遣4名以上。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「生徒指導方針に共感」85%維持。(H26:89%)</li> </ul> <p>ア・教職員間の相互理解についての肯定的回答 90%の維持(H26:96%)。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校内組織の中期的改善についての検討会議を5回以上実施。</li> </ul> <p>ア・実施回数、受講者による評価。</p>	<p>ア・教科会の定期的開催実現は年15回開催(◎)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校教育自己診断で肯定的回答 98%(95%維持)(◎)</li> <li>・<u>新シラバスと「Can-Do リスト」及び「チャレンジシート」の一体化は「槻の木 観点別シラバス」(全教科)に一本化(◎)</u></li> <li>・先進校への派遣2名(△)</li> <li>・「生徒指導方針に共感」83%(85%維持)(△)</li> </ul> <p>ア・相互理解肯定的回答 76%(90%維持)(△)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校内組織の中期的改善についての検討会議、年5回以上開催(○)</li> <li>ア・若手研修は「スキルアップ研修」として年5回実施(◎)</li> </ul>
<p style="text-align: center;">3 保護者・地域から信頼される学校づくり</p>	<p>(1) 子どもが「入りたい」保護者が「子どもを入りたい」そして「入ってよかった」「入れてよかった」学校づくりの推進</p> <p>(2) 地域への情報発信</p>	<p>ア・進路、生活指導などで実績を積み、それを中学校、中学生・保護者、地域の方々に発信し、信頼にたつ学校づくりを進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体育大会、文化祭、個人面談に加え、進路説明会などをできる限り多く開催し保護者の信頼をさらに得よう努める。</li> <li>・政治的教養を育む教育を推進する。</li> <li>・照度改善に取り組み、より安全な学習環境の充実に努める。</li> </ul> <p>ア・学校のウェブページや槻の木 MANABI カフェの充実などにより地域の方に、学校のもつ情報を地域に還元する。</p>	<p>ア・「入って(入れて)よかった」生徒 80%以上(H27:73%)、保護者 90%以上(H27:92%)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事に参加したことがある 85%以上(H27:87%)</li> <li>・政治的教養を育む教育の具体的な取り組み</li> <li>・施設設備の学習環境面で満足できる。70%以上(H27:78%)</li> </ul> <p>ア・MANABI カフェへの生徒、保護者地域の方の満足度 80%以上(H27:83%)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校ウェブページの月10回以上の更新</li> </ul>	<p>ア・「入って良かった」生徒 76% 保護者 89%(△)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事 86%(○)</li> <li>・政治的教養を育む教育について HR や生徒会選挙で模擬投票などを実施(○)</li> <li>・施設設備面 74%(○)</li> </ul> <p>ア・MANABI カフェは「槻の木 NEXT STAGE」実施のため未実施(△)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校ウェブページ年間125回更新(◎)</li> </ul>